

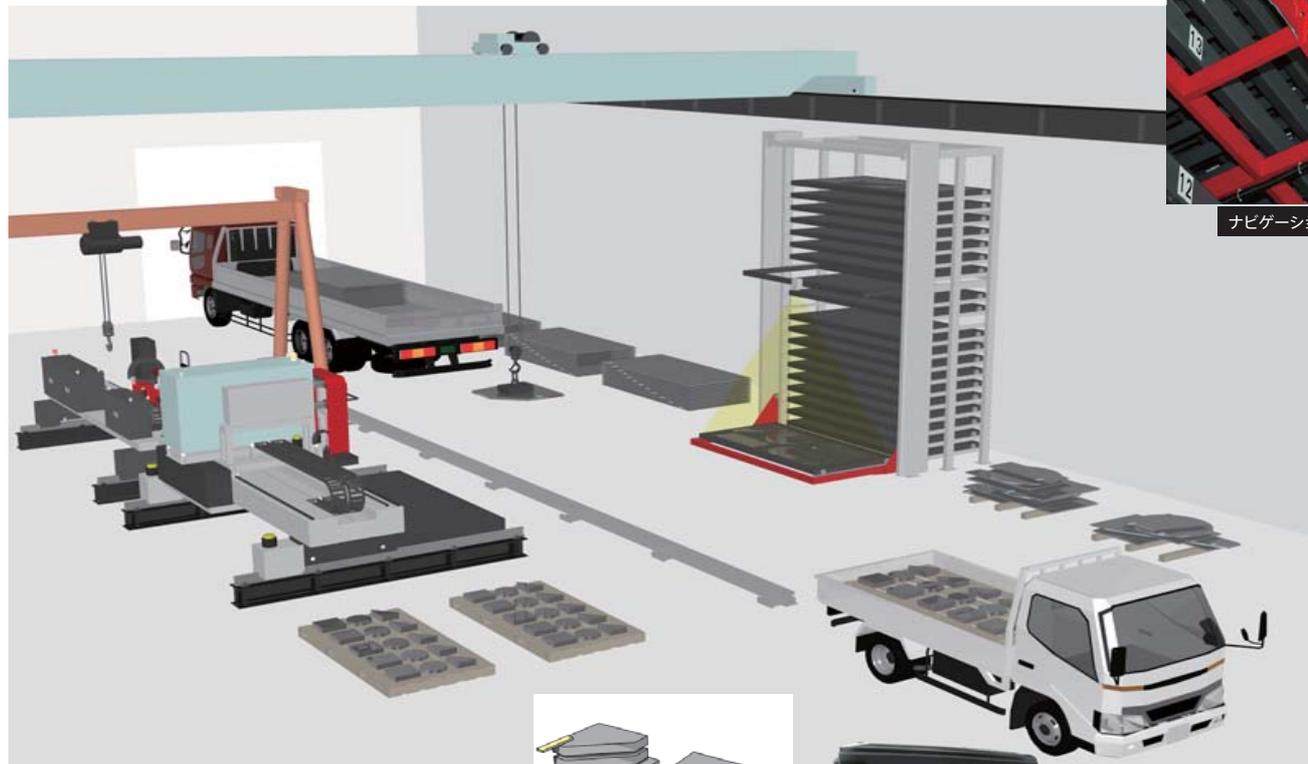
生産管理システム

KOIKEトレーサビリティ

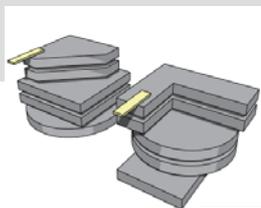
在庫管理の精度向上と在庫の最適化、在庫削減、支給材・高級材の個別管理。

在庫の有効活用と歩留率の向上、残材の有効活用による歩留アップと収益向上。

トレーサビリティと品質管理の向上、残材形状のデータ化による一元管理。



ナビゲーションカメラ



ICタグ読取

KOIKEトレーサビリティ機能詳細

<1.入庫>

①素材にRF・ICタグを貼付けます。②素材のRF・ICタグをリーダーライターで読込み入庫作業を行います。③リーダーライターで読込まれた鋼板の情報はKAP8030Nのデータベースと紐付けられます。

<2.切断>

①KAP8030Nで各切断機の切断スケジューリングを行い、NCデータを無線LANで切断機に転送します。作業状況が色別で表示されますので進捗が一目でわかります。②鋼板のRF・ICタグをリーダーライターで読取りNCデータとの照合を行います。③RF・ICタグとNCデータが合致している時のみ、切断可能状態となります。この仕組みにより誤切断が防止されます。

<3.出荷>

①同じ素材・残材から切断された製品を出荷先ごとに山積みしRF・ICタグと山積みリストを添付します。②出荷のときはタグを読み取り、リーダーライターで読取った出荷先に間違いがないか確認し出荷します。③出荷先には添付した山積みリストに記載したミルシートNo. などによりトレーサビリティを証明します。(タグは出荷後取外して事業所に戻し、再利用します。)

<4.残材登録>

①切断後の残材は、リーダーライターでパターン化された形状で登録します。②オプションのナビゲーション付きストッカーを用いると、残材形状を実形状で利用できるため歩留りが向上します。

<5.棚卸>

①RF・ICタグとリーダーライターの利用により、コンピュータのデータベースを直接確認しながら棚卸ができ、従来に比べ棚卸精度が飛躍的に向上します。②無駄な確認作業がなくなるため作業時間が著しく短縮されます。③鋼材山とその積み上げ順をデータ化できます。④いつでも棚卸状態なので、在庫状況がリアルタイムで把握できます。⑤KTSは、ミルシート番号などのトレーサビリティにとどまらず、歩留り・残材形状・保管場所などのトータルトレーサビリティにより「見える化」を実現します。

<オプション製品>

・自動寸法検査装置

KAP8030Nで指示した計測ポイントをCCDカメラで撮影・検出し、自動的に寸法を計算、合否判定を行います。

・バリツールII

ローラーコンベアに製品をセットするだけで、特殊スライスカッターが塗装面を傷つけることなく確実にバリを取り除きます。

この他にも、豊富なオプションをご用意しております。詳細は、弊社担当営業員にお問い合わせください。